



「ヘアロス」正しく知って

大分合同新聞
2023年8月30日(水)
朝刊 23面

ヘアロスの啓発活動に取り組む大分市の中学1年生、リリコさん(大分市)



【大分】脱毛症や治療の副作用などで髪の毛がなくなってしまうヘアロス(毛髮疾患)を広く知ってもらおうと、大分市内の中学1年生リリコさん(家族の意向でフルネーム、住所、年齢は非公表)が啓発活動に取り組んでいる。全国的なイベントに「キッズアンバサダー」として出演したり、インスタグラム(写真共有アプリ)で日々の活動を発信したりしている。

リリコさんの母(40代)による脱毛した。ウィッグ(かつら)を着ると、生後8カ月ころ、髪の毛が抜け始めて1歳過ぎに全て抜けた。3歳ごろ、いったんは自然と生えそろうた。しかし、小学2年時に再び

脱毛した。ウィッグ(かつら)を着て登校したが、学校生活で過剰に「ささを感じるようになった。3年時に学年集会で「私は髪の毛がありません。これからはヘア

大分市の中学生が啓発活動

全国イベントやインスタで発信 来月、トークショー出演も

帽子をかぶって学校で過ごす。笑わないでください」と勇気を出して発言し、理解を得られた。中学入学後は思いを書いた手紙を教諭が代読し、全校生徒に周知したという。

昨年からはヘアロスの患者や家族を支援する団体「特定非営利活動法人アルペシア・スタイル・プロジェクト・ジャパン」(東京都)の啓発イベントに参加している。9月23日には東京都で開催されるパレードやトークショーなどに出演する予定。

ヘアロスは円形脱毛症や先天性縮毛症・乏毛症、抜毛症、薬剤や交通事故などの影響による脱毛などがある。母は「髪の毛がないと重い病気と思われがち。正しく知ってもらうことで、子どもたちが過剰に「ささくなる」と話す。市内で交流会も開催している。

健康的で笑顔が似合うリリコさん。2月には市教委の人権作文コンクールで優秀賞を受賞した。「(脱毛症のことは)何とも思っていない。小さい子どもと遊ぶことが好きなので、将来は保育士になりたい」と目を輝かせた。

インスタグラムは「riri00a」。(坂本陽子)

〔問①〕印象に残った箇所に〰線、主題(筆者が一番伝えたい箇所)に――線を引こう。

〔問②〕感想や意見などを書いてみよう。

〔問③〕漢字の読みを書こう。

- ①副作用 () ②疾患 () ③支援 ()
④啓発 () ⑤影響 ()

〔問④〕次の意味を持つ言葉を記事の中から探してみよう。

- ①ものごとの道理や筋道を正しく分ること。 ()
②映画や舞台などに出て、役を演じること。 ()
③異なる地域・組織・系統に属する人や文物が互いに行き来すること。 ()
④集会や催し物を開いて進行させること。 ()